

令和8年度兵庫教育大学教員研修プログラム

知っておきたい！～Web 地図「地理院地図」を使った授業法～の事後アンケートまとめ

開催日：2026 年 7 月 31 日

参加者：21 名

定 員：20 名

アンケート回答人数：20 名（小学校：13 名、中学校：4 名、特別支援学校：2 名、その他：1 名）

1. 受講した理由

この講習の受講を選んだ理由としては、「講義だけでなく、見学や実習があるから」という回答が最も多かった。

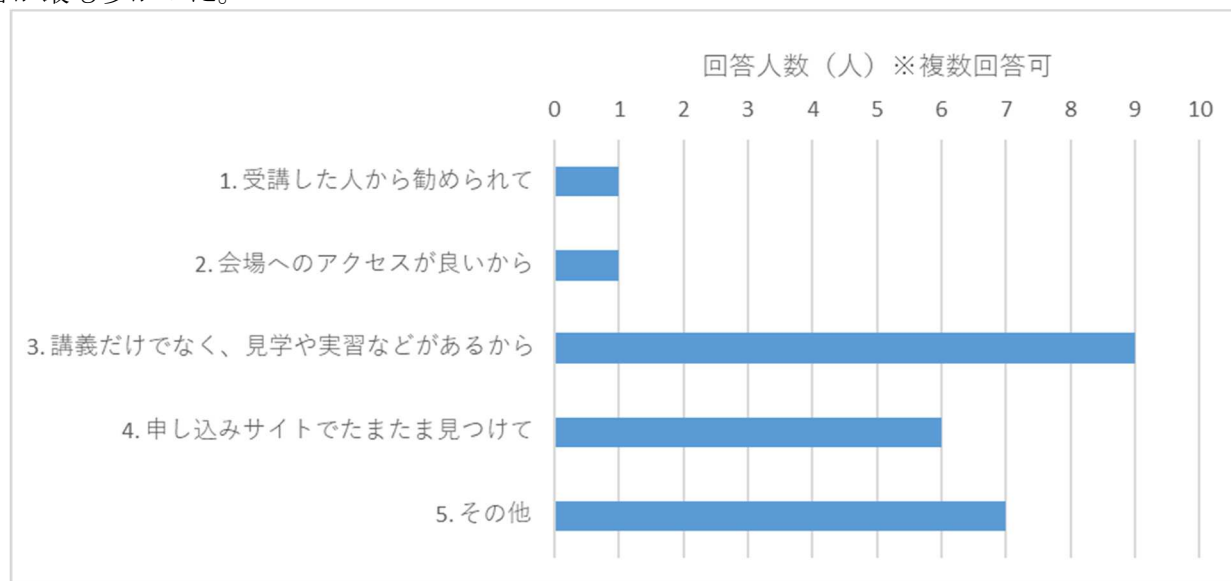


図1 講習を選んだ理由 (N=20)

2. 講習の効果

A) Web 地図に対する理解の深化

- 地理院地図や重ねるハザードマップに対する理解が深まった旨の回答が最も多く見られた。

B) 教育現場における実践

- 授業での活用や教材研究に役立つ内容だった旨の回答が次いで多く見られた。

C) 他研修とのシナジー効果

- 土木学会関西支部が主催・共催した過去のイベントへの参加をきっかけに土木に関心を持ち、本講習にも参加した参加者も見られた。
- 「今後受けてみたい講習の内容」の項目に対して、無回答は 0 人で、15 人が複数の講習内容を選択しており、様々な講習を提供することが土木への理解を深めるきっかけになっていると考えられる。

D) 「土木」に対するイメージの変化

- 土木と建築の違いについて理解することができたとの意見が多く見られ、土木が社会の基盤を支えるうえで欠かせない分野であるとの認識が深まったものと見られる。

3. 今後受けてみたい講習内容

直前に令和8年熊本地震があったためか、防災学習を受講したいという意見が多く見られた。また、自由記述では、空港、港、ダム、トンネル、ゴミ処理場、高速道路、鉄道車両基地が関心の高い場所として挙げられた。ハザードマップの作り方やまちづくり、再開発に関する講習を希望する意見も見られた。

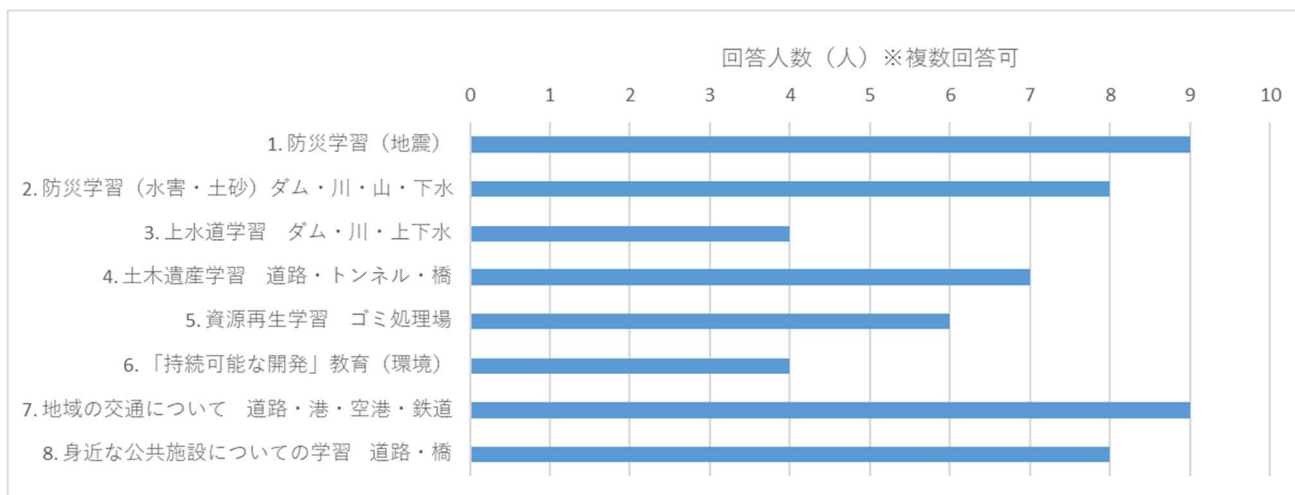


図2 今後受けてみたい講習の内容（N=20）